

## Laneed ネットワーク設定マニュアル

# Windows 2000 編

---

1. ネットワークサービスとTCP/IPプロトコルを設定する	2
2. コンピュータ名とワークグループを設定する	6
3. フォルダ/ドライブやプリンタを共有する	9
アカウントを登録する	10
・ Guest アカウントを有効にする	11
・ アカウントをユーザーごとに登録する	13
フォルダ/ドライブを共有する	15
・ 他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする	20
プリンタを共有する	22
・ サーバ側のコンピュータについて設定する	22
・ クライアント側のコンピュータについて設定する	25

# 1

## ネットワークサービスと TCP/IP プロトコルを設定する

Windows 2000 でネットワークが利用できるようにネットワークサービスと TCP/IP プロトコルを設定します。ネットワークサービスについては[基礎知識編-11]ページ「サービス」、TCP/IP プロトコルについては[基礎知識編-12]ページ「3. TCP/IP プロトコルと IP アドレス」をお読みください。



### Administrator 権限

Windows 2000 は複数のユーザー名でコンピュータを使用できます。その中でシステムやデバイス、ネットワークなどの設定・変更が許されるユーザーをシステム管理者と呼びます。Windows 2000 では Administrator 権限を持つユーザーがシステム管理者にあたります。

**1** Windows 2000 には、システム管理者である「Administrator 権限」でログオンしておきます。

**2** ①[スタート]ボタン→②[設定]→③[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。



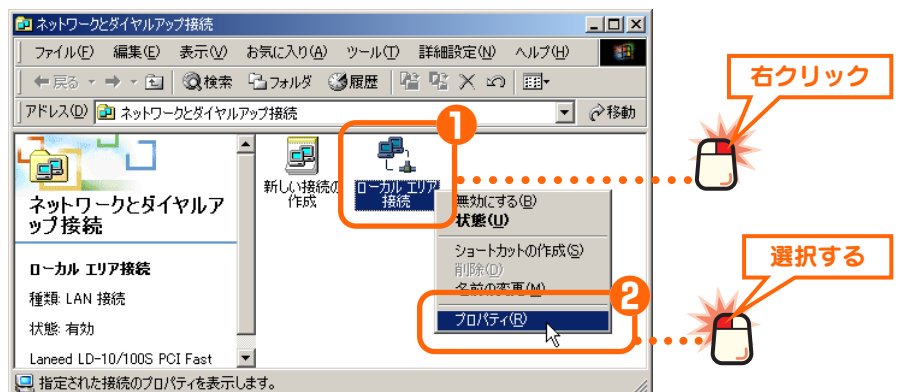
### [ローカルエリア接続]の表示について

ご使用の環境によっては、[ローカルエリア接続 2]というように最後に番号が付いている場合がありますが操作には関係ありません。

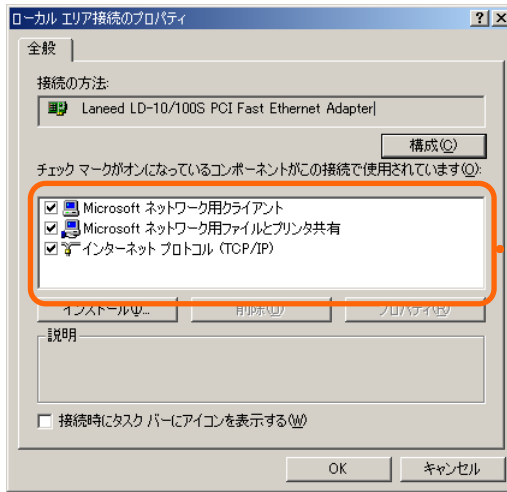
### アダプタの名称について

[接続の方法]に表示されているアダプタ名は、実際にはご使用の LAN アダプタの名称が表示されます。

**3** ①[ローカルエリア接続]を右クリックします。  
②[プロパティ]を選択します。



**4** ネットワークを利用するのに必要な項目が有効になっていることを確認します。



**オフになっているときは**  
 オフ(□)の状態の場合はチェックボックスをクリックしてオン(☑)の状態にします。

●以下の項目のチェックボックスがオンになっていることを確認します。

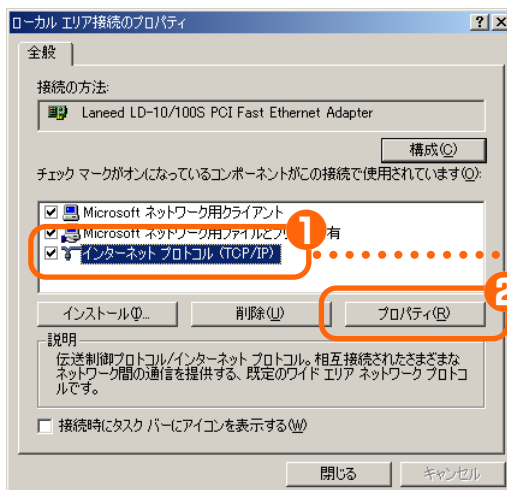
- ☑ Microsoft ネットワーク用クライアント
- ☑ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
- ☑ インターネットプロトコル(TCP/IP)



**その他の項目が追加されている場合**

ここで説明している小規模ネットワークの利用には関係ありません。上記の3つの項目以外はオフのままでもかまいません。

**5** ① 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。  
 ② 「プロパティ」ボタンをクリックします。





### DHCP サーバ機能とは

ルータなどに標準で装備されている機能です。ネットワーク上のコンピュータに IP アドレスを自動的に割り当てることができます。詳しくは [基礎知識編-14] ページ「IP アドレスの設定が不要になる『DHCP サーバ』」をお読みください。



TCP/IP プロトコルの初期値は [IP アドレスを自動的に取得する] になっていますので、通常は確認するだけになります。



### 入力時のポイント

「.」を入力する必要はありません。アドレスが 3 桁未満の場合は [Enter] キーを押すと、となりの入力位置へカーソルが移動します。



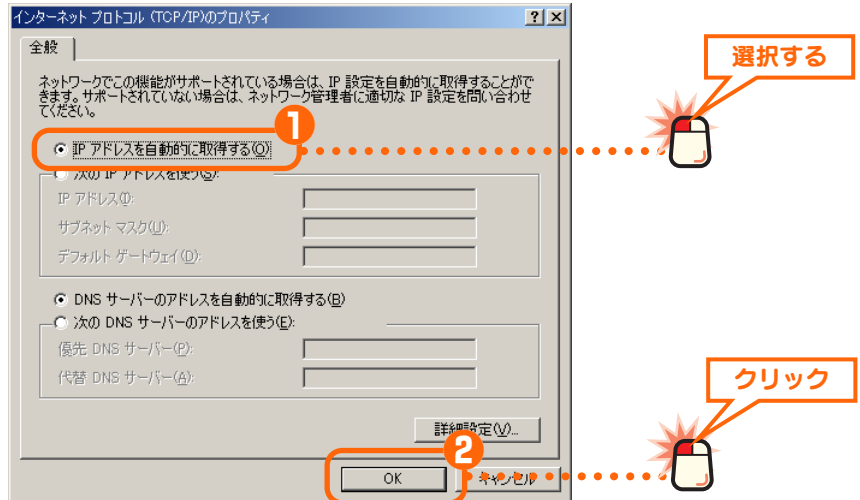
### デフォルトゲートウェイ

通常、小規模ネットワークでは「デフォルトゲートウェイ」を設定する必要はありません。インターネット接続などでプロバイダより指示がある場合は、その指示に従ってください。

## 6 ご使用の環境に合わせて IP アドレスの設定方法を指定します。

### ● ルータなどの DHCP サーバ機能を利用している場合

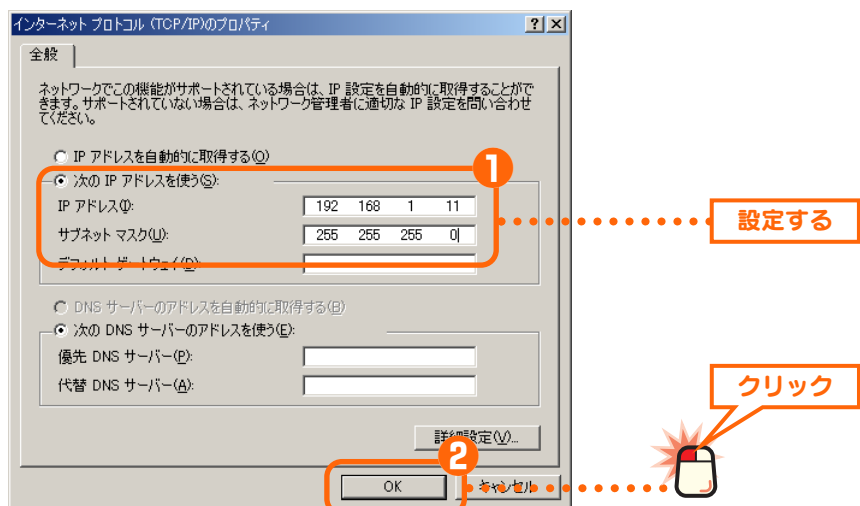
- ① [IP アドレスを自動的に取得する] を選択します。
- ② [OK] ボタンをクリックし、手順 7 へ進みます。



### ● DHCP サーバ機能を利用していない場合

ネットワーク上の各コンピュータに対して IP アドレスを手入力する必要があります。あらかじめ記入しておいた「マイネットワーク設定リスト」(→[基礎知識編-15] ページ) を元に、次の手順で IP アドレスを入力します。

- ① [次の IP アドレスを使う] を選択し、以下の操作をします。
  - ・ [IP アドレス] にあらかじめ決めた「192.168.」から始まる数値を入力します。
  - ・ [サブネットマスク] の入力スペースにカーソルを移動します。自動的に「255.255.255.0」と入力されます。
- ② [OK] ボタンをクリックし、手順 7 へ進みます。





#### [閉じる]ボタンが表示された場合

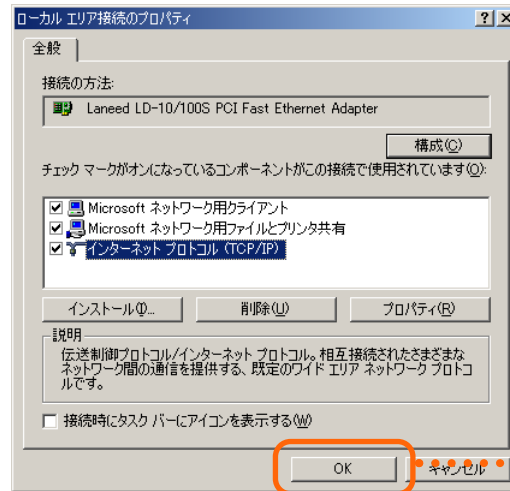
設定を変更した場合は、**OK** ボタンではなく **閉じる** ボタンが表示されることがあります。その場合は **閉じる** ボタンをクリックしてください。



#### 再起動画面が表示された場合

コンピュータを再起動するようにメッセージが表示された場合は **はい** ボタンをクリックして、Windows を再起動してください。

## 7 <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面に戻りますので **OK** ボタンをクリックします。



## 8 <ネットワーク接続> 画面の右上にあるクローズボックス **×** をクリックします。

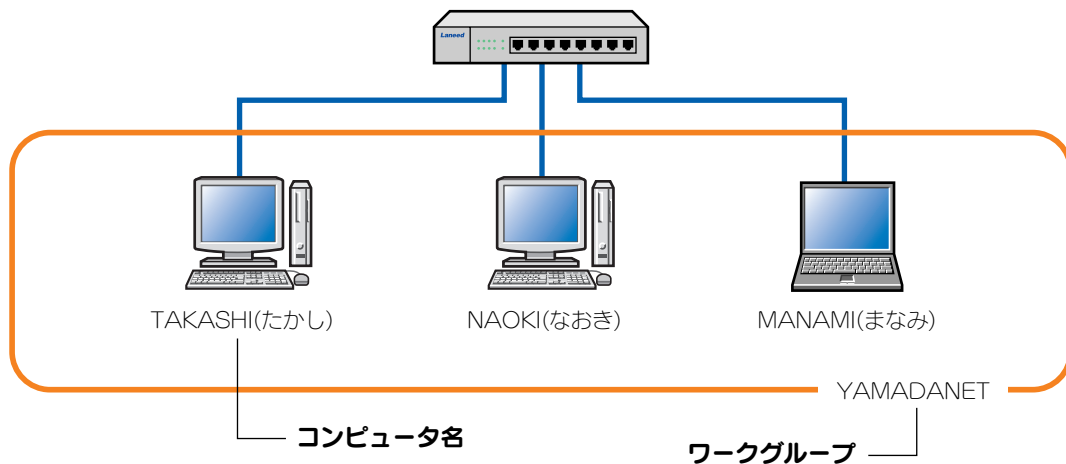
これでネットワークサービスとプロトコルの設定は完了です。このあとはコンピュータとネットワークの名前を設定します。次ページ「2.コンピュータ名とワークグループを設定する」へ進みます。

# 2

## コンピュータ名とワークグループを設定する

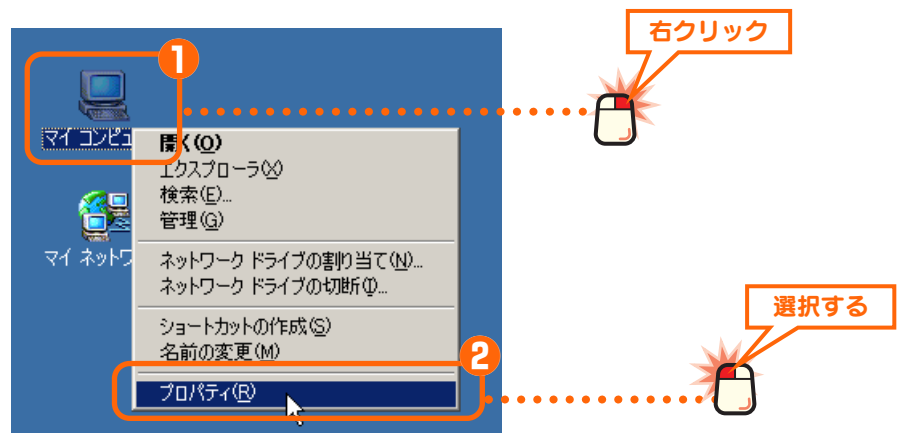
ネットワークに接続するコンピュータをそれぞれ区別するために、各コンピュータに名前を付けます。また、ネットワークに「ワークグループ」と呼ばれるグループの名前を設定します。同じワークグループに所属するコンピュータだけがファイルなどを共有できます。コンピュータ名とワークグループの詳しい説明については[基礎知識編-10]ページ「コンピュータとネットワークの名前」を参照してください。

### ●コンピュータ名とワークグループ

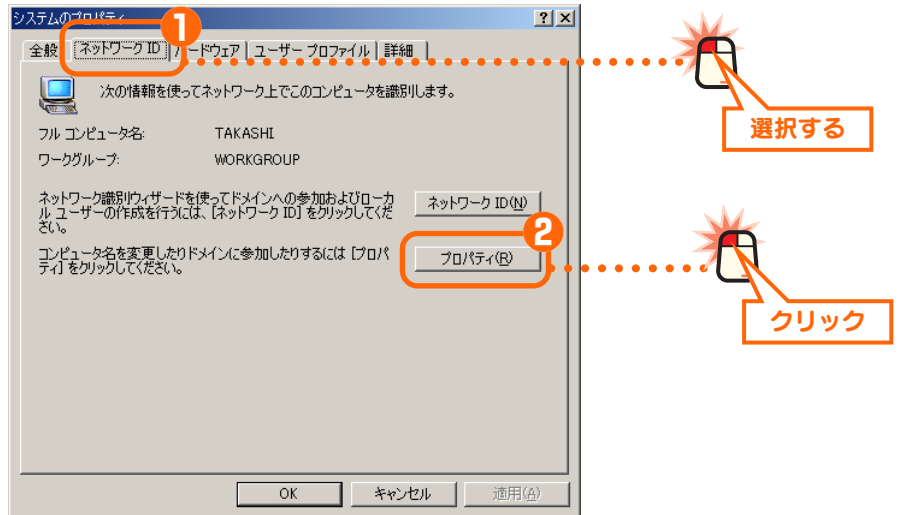


※コンピュータ名およびワークグループの名前は半角英数字で設定してください。


- 1 デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
- 2 メニューの[プロパティ]を選択します。

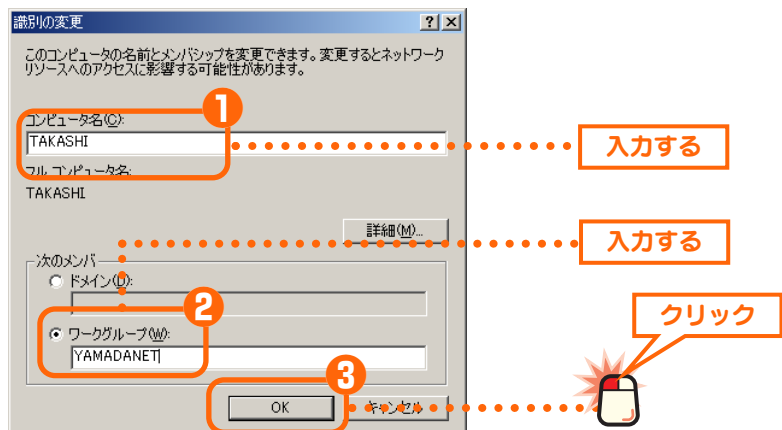


- 2** ①【ネットワーク ID】タブを選択します。  
② プロパティ ボタンをクリックします。



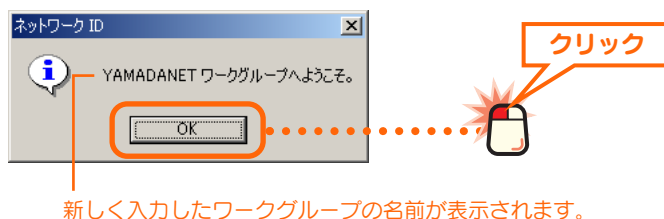
- 3** ① コンピュータ名を入力します。  
② [ワークグループ]を選択し、名前を入力します。  
③ OK ボタンをクリックします。

  
ピア・ツー・ピアの小規模なネットワークでは【ドメイン】を選択することはありません。

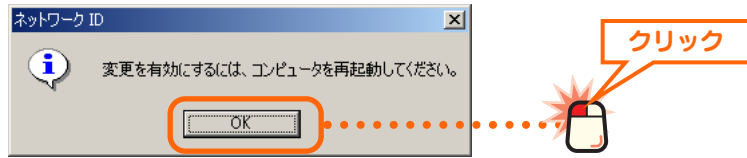


・コンピュータ名とワークグループの名前に使用できる文字は半角英数字(A～Z、0～9)と「-」で、15文字まで入力できます。漢字などの2バイト文字はトラブルの原因になりますので使用しないでください。

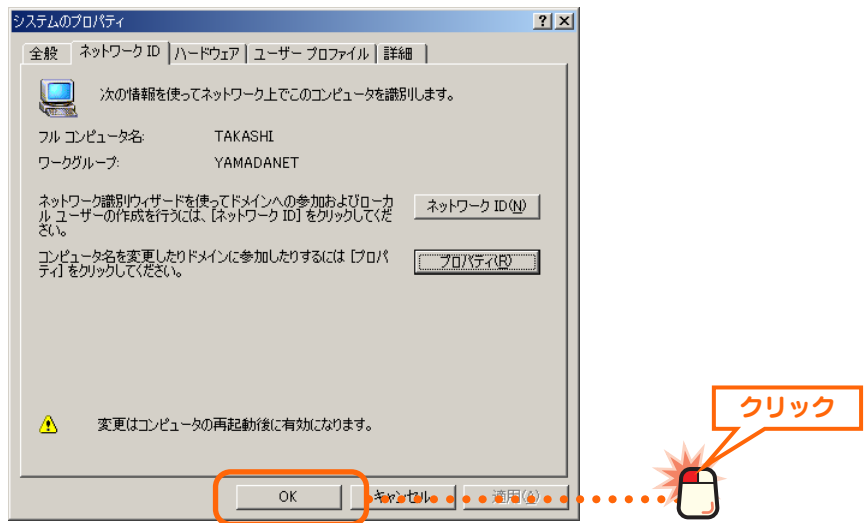
- 4** ワークグループ名を変更した場合は以下の画面が表示されますので **OK** ボタンをクリックします。  
コンピュータ名だけを変更した場合はこの画面は表示されませんので次の手順 **5** へ進みます。



- 5** 以下の画面が表示されますので **OK** ボタンをクリックします。

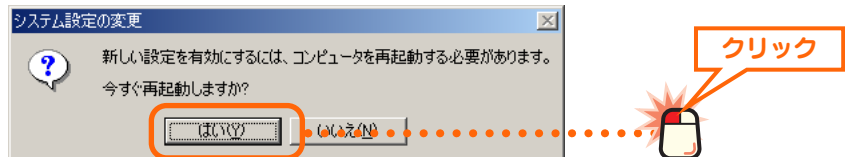


- 6** <システムのプロパティ> 画面の【ネットワーク ID】タブに戻りますので **OK** ボタンをクリックします。



新しく設定したコンピュータ名とワークグループは、再起動するまでは使用できません。

- 7** 再起動を確認するメッセージが表示されますので **はい** ボタンをクリックします。



Windows が再起動すると新しく設定したコンピュータ名とワークグループが有効になります。このあとはネットワークで共有するフォルダやドライブ、プリンタの設定をします。次の「3.フォルダ/ドライブやプリンタを共有する」へ進みます。





# フォルダ/ドライブや プリンタを共有する

実際にネットワークを利用するには、コンピュータごとにアカウントの作成と共有設定をおこなう必要があります。ここではアカウントの作成方法と小規模ネットワークでよく利用するファイル共有とプリンタ共有の方法について説明します。はじめにアカウントを作成し、次に共有設定をしてください。ファイル共有とプリンタ共有の概念については、[基礎知識編-3]ページ「1. コンピュータが2台あればLANでつながろう」をお読みください。

## ●アカウントの作成→次ページより

Windows 2000では、あらかじめアクセスを許可したアカウントだけが共有フォルダなどにアクセスできます。そのため共有設定をする前に、アクセスを許可するユーザーのアカウントを作成する必要があります。

## ●ファイル共有(フォルダ/ドライブの共有)→[2000編-15]ページ

自分のコンピュータにあるファイルを他のコンピュータのユーザーが参照できるように共有設定をおこないます。共有できるのはフォルダ単位またはドライブ単位で、共有したフォルダまたはドライブ内にあるすべてのフォルダやファイルを参照できます。

## ●プリンタ共有→[2000編-22]ページ

プリンタを共有すると複数のコンピュータに対してプリンタが1台しかないような環境でも、ネットワークを利用してすべてのコンピュータから印刷できるようになります。

## アカウントを登録する

Windows 2000 では、あらかじめアクセスを許可するユーザーのアカウントを作成し、共有設定でそのアカウントを登録しておく必要があります。これらの設定を正しくしていないと、共有フォルダなどに他のコンピュータ(クライアント)から接続することはできません。共有フォルダなどを作成する前に、アクセスを許可するユーザーのアカウントを作成してください。



### 「アカウント」とは

アカウントは、ユーザー名とパスワードなどで構成されています。ユーザーは自分のパソコンに、登録されたユーザー名とパスワードを使ってログオンしておくことで、アクセスを許可された共有フォルダなどにアクセスすることができます。



### クライアント

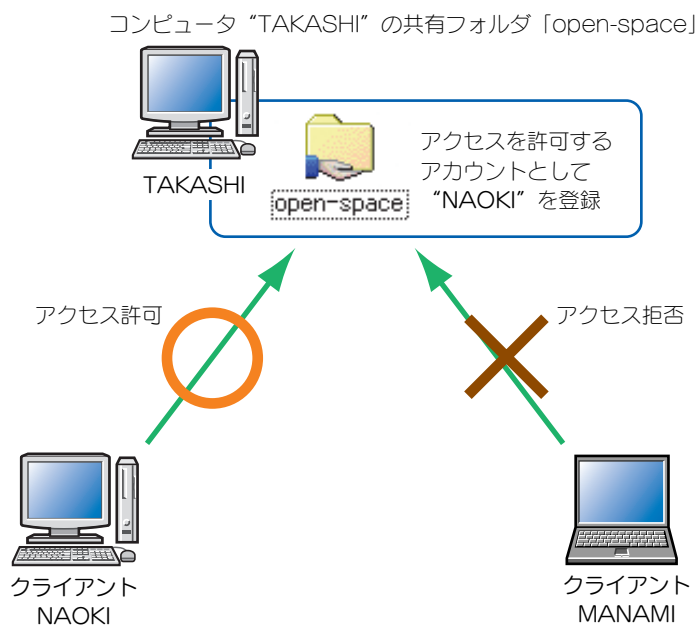
設定ガイドでは、共有フォルダを設定しているコンピュータにアクセスするネットワーク上の他のコンピュータを「クライアント」を記述しています。



### ログオン時の注意

クライアント側になるコンピュータは、相手の共有フォルダに設定されたアカウントのユーザー名とパスワードでログオンしておく必要があります。異なるユーザー名とパスワードでログオンしている場合はアクセスを拒否されます。

### ■共有フォルダへのアクセス許可の例



クライアント「NAOKI」は「open-space」フォルダにアクセスすることを許可されているので「open-space」フォルダにアクセスできます。しかし、クライアント「MANAMI」はアカウントが登録されていないのでアクセスしようとすると拒否されます。

### ●すべてのユーザーを許可する場合は Guest アカウントが便利です

ネットワーク上のすべてのコンピュータ(クライアント)のユーザーに対して常に共有フォルダなどへのアクセスを許可してもよい場合は、「Guest」アカウントを有効にしてください。「Guest」アカウントを使用すると、ユーザーのアカウントを登録したり、アクセス許可の設定をする必要がなくなります。

## Guest アカウントを有効にする

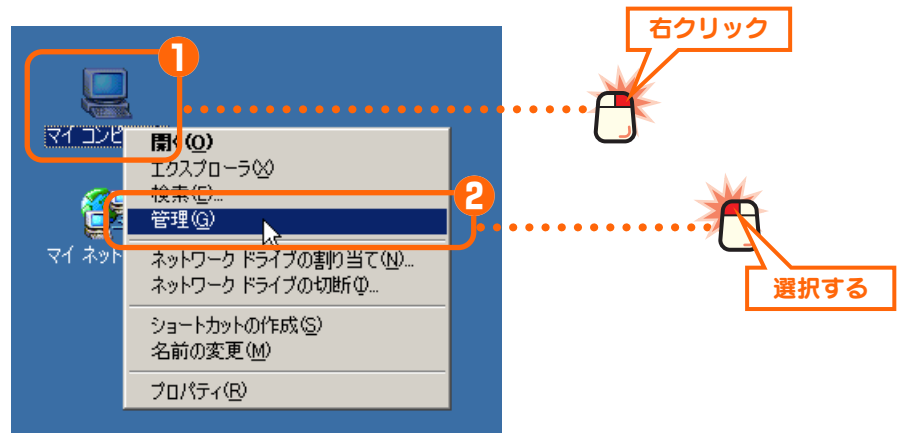


### ユーザーごとにアクセス権限を区別したい場合

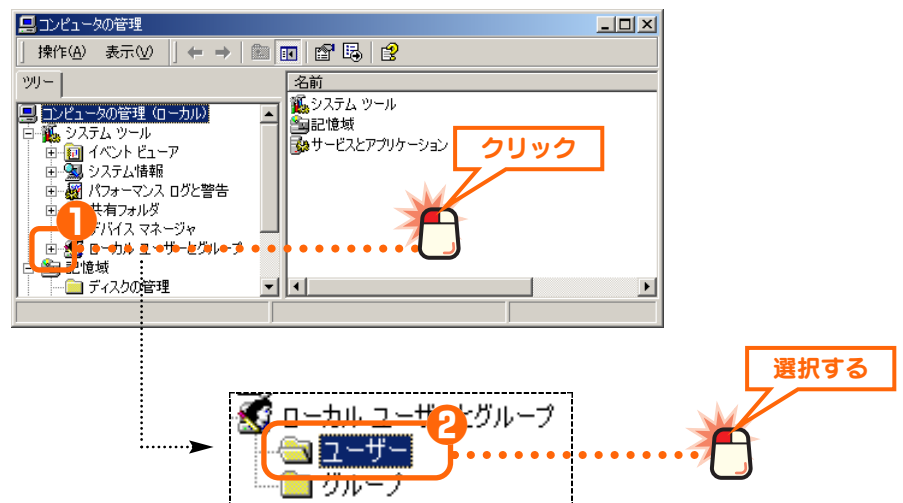
[2000 編-13]ページの「アカウントをユーザーごとに設定する」をお読みください。

Guest アカウントを有効にすると共有したフォルダ/ドライブ/プリンタに対して、ネットワーク上のすべてのユーザーがアクセスできるようになります。なお、Guest アカウントは共有したフォルダ/ドライブ/プリンタごとにアクセス権限の内容を設定することはできませんが、ユーザーごとにアクセス権限を区別することはできません。

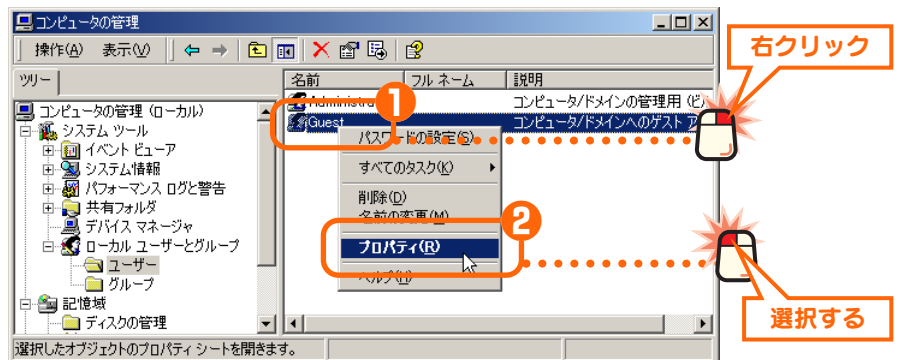
- 1** **1** デスクトップ上にある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
- 2** メニューから[管理]を選択します。



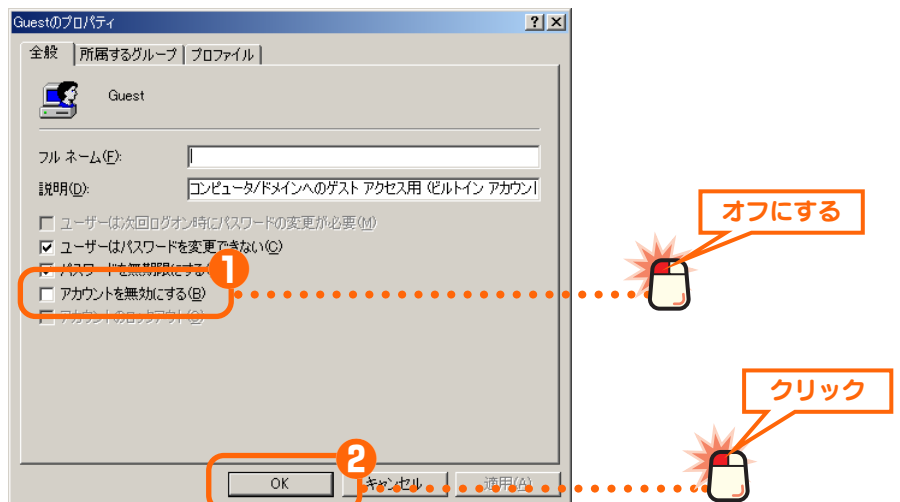
- 2** **1** 画面左の【ツリー】タブにある[ローカル ユーザーとグループ]の + をクリックします。
- 2** [ユーザー]フォルダを選択します。



- 3** ①画面右に表示されたユーザーのリストにある[Guest]を右クリックします。  
②メニューの[プロパティ]を選択します。



- 4** ①[アカウントを無効にする]のチェックをオフにします。  
② [OK] ボタンをクリックします。



#### 共有フォルダ/ドライブごとのアクセス権限について

ファイルをコピーできるだけののか、変更もできるのかなどのアクセス権限については、共有設定の[アクセス権限]でフォルダ/ドライブごとに区別することができます。

これで Guest のアカウントが有効になりました。これによりネットワーク上のすべてのコンピュータは共有設定したフォルダ/ドライブ/プリンタに自由にアクセスすることができます。

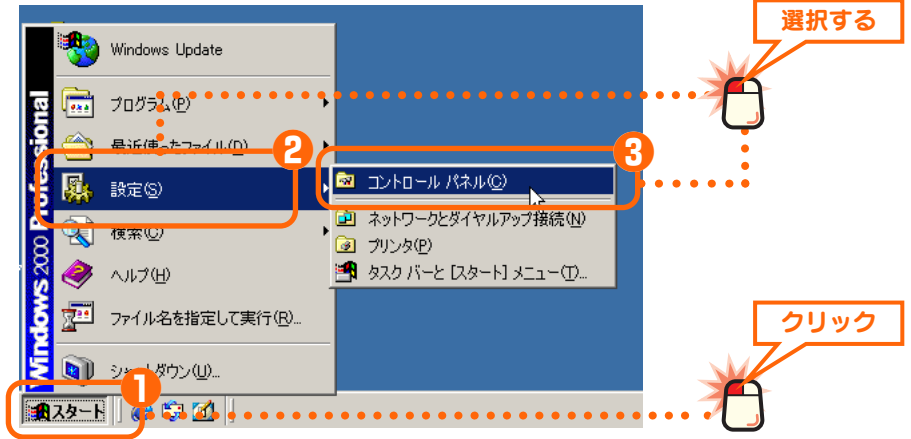
## アカウントをユーザーごとに登録する



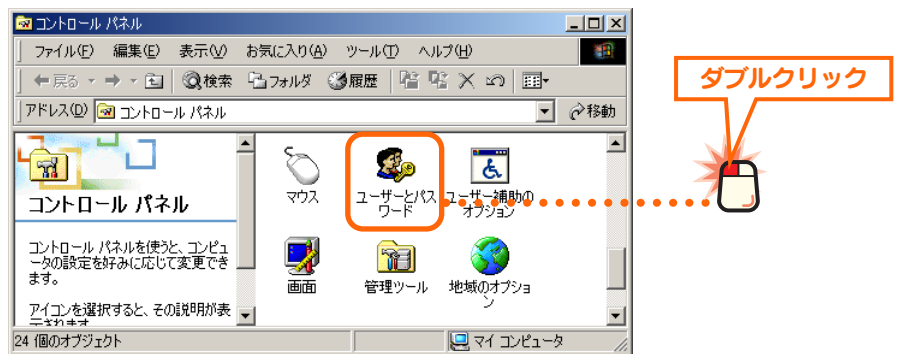
### すべてのユーザーにアクセスを許可したい場合

ネットワーク上のすべてのユーザーに共有フォルダなどへのアクセスを許可したい場合は、Guestアカウントが便利です。詳しくは[2000 編-11]ページの「Guestアカウントを有効にする」をお読みください。

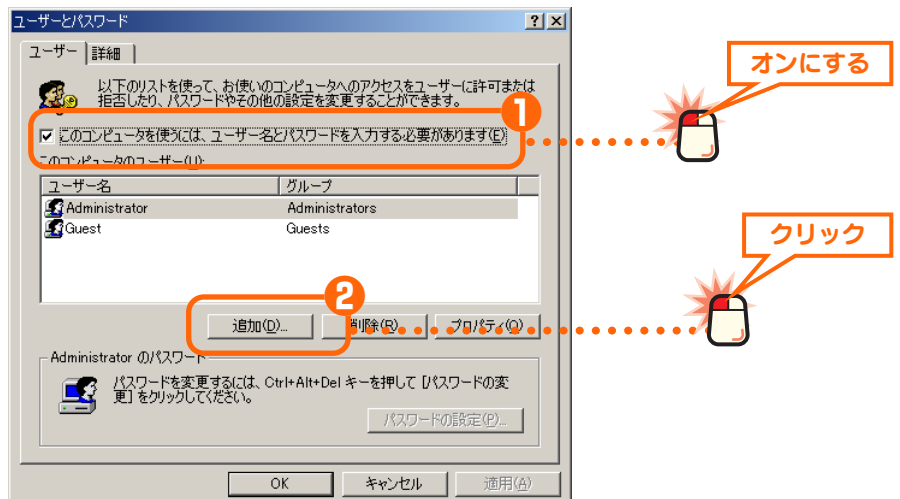
- 1** ①[スタート]ボタン→②[設定]→③[コントロールパネル]を選択します。



- 2** [ユーザーとパスワード]アイコンをダブルクリックします。



- 3** ①[このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります]がオフの場合はオンにします。  
② **追加** ボタンをクリックします。

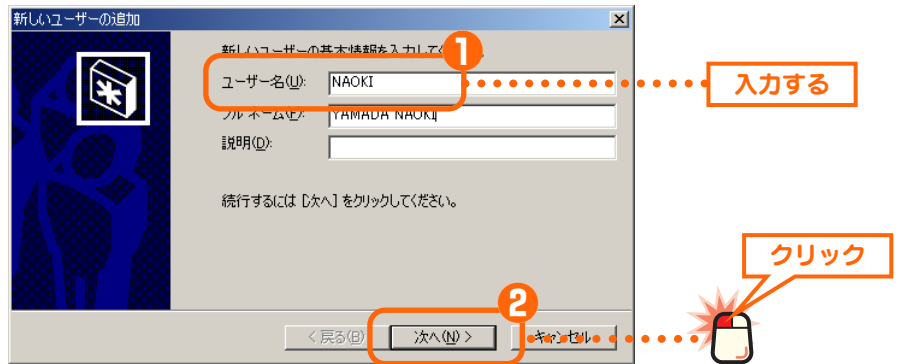




**ユーザー名**

ここに入力するユーザー名は、アクセスを許可するクライアントがログオンするときに使用している名前です。

**4** [ユーザー名]に名前を入力し、**次へ** ボタンをクリックします。



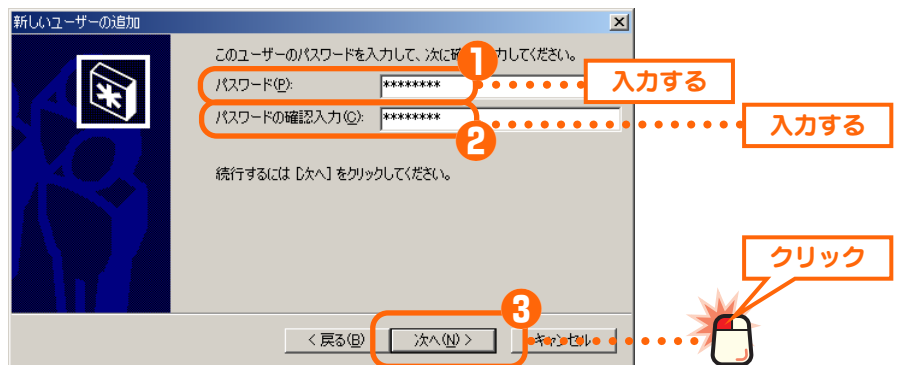
- ・ユーザー名は大文字と小文字が区別されますので注意してください。
- ・[フルネーム]と[説明]については、特に入力する必要はありません。



**パスワード**

ここに入力するパスワードはアクセスを許可するクライアントがログオンするときに使用しているユーザー名のパスワードです。

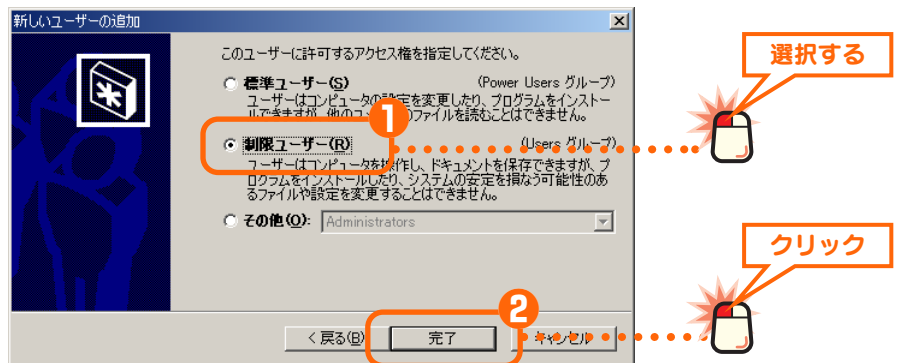
**5** ①[パスワード]にパスワードを入力します。  
②[パスワードの確認入力]に同じパスワードをもう一度入力します。  
③ **次へ** ボタンをクリックします。



**ユーザーのアクセス権の設定について**

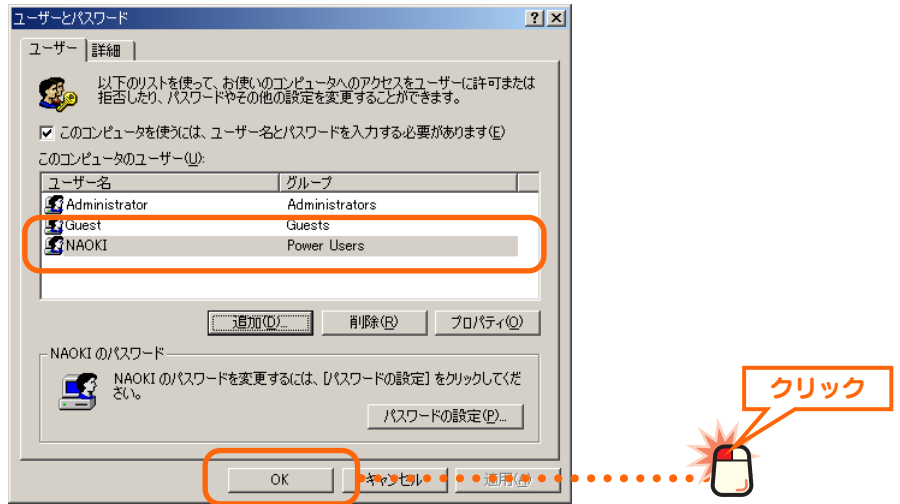
[標準ユーザー]や[その他]の「Administrator」を選択すると、そのユーザーに共有設定以外のさまざまな権限が与えられてしまいますので、通常は[制限ユーザー]を選択するようにしてください。

**6** ユーザーのアクセス権を選択し、**完了** ボタンをクリックします。通常は[制限ユーザー]を選択します。



- ・ここではネットワーク経由で共有ファイルなどを利用するためのアクセス権を設定しますので[制限ユーザー]を選択します。

**7** 追加したユーザーが登録されます。**OK** ボタンをクリックします。



これでユーザーの登録は完了です。同じ要領でアクセスを許可するすべてのユーザーを登録してください。

## フォルダ/ドライブを共有する

フォルダ単位またはドライブ単位で共有設定をおこないます。ここでは例として任意のフォルダを作成し、そのフォルダを共有化する方法を説明しています。

### 共有フォルダや共有ドライブの中にあるフォルダについて

フォルダやドライブを共有化すると、共有化したフォルダ/ドライブの中にあるすべてのフォルダが共有化されます。そのため、すべてのフォルダ内のファイルを他のコンピュータから参照できるようになりますのでご注意ください。共有化したフォルダ/ドライブの中にあるフォルダを他人に参照されたくない場合はフォルダを別の場所に移動するなどしてください。



#### 共有フォルダ名について

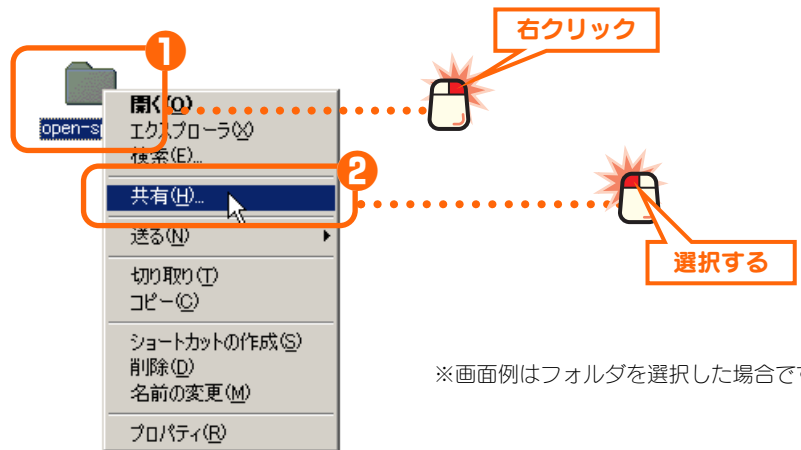
Windows Me/98 を使用するコンピュータがネットワーク上にある場合は、半角英数字などでフォルダおよびドライブ名を作成してください。全角文字を使用すると正常に認識されないなどの問題が発生します。Windows XP/2000 だけの場合は全角文字を使用してもかまいません。

**1** 新しいフォルダを共有する場合、お好みの場所にフォルダを作成します。ドライブを共有する場合や、すでにあるフォルダを共有する場合は手順 **2** へ進みます。



・新しくフォルダを作成した場合は、フォルダ名をわかりやすい名称に変更します。漢字などの全角文字を使用することもできます。

- 2** ① 共有したいフォルダまたはドライブを右クリックします。  
② メニューから[共有]を選択します。

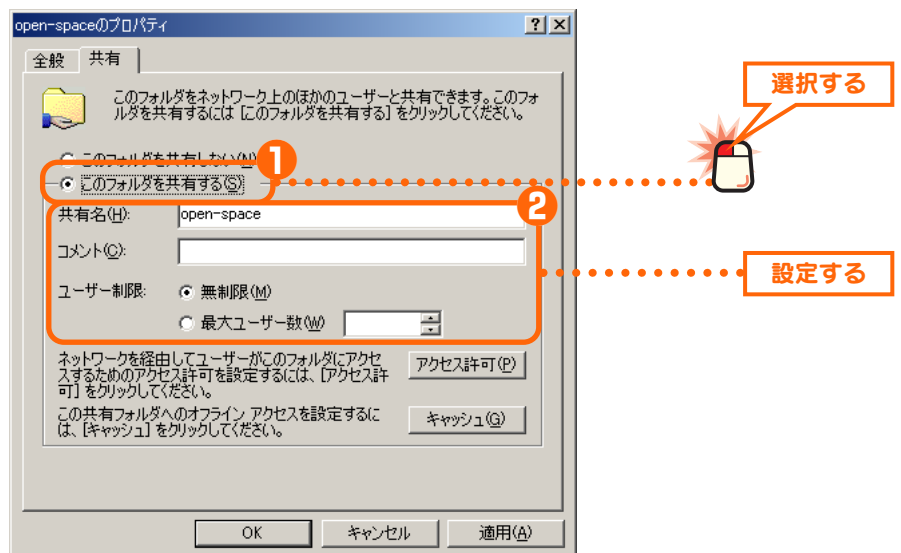


※画面例はフォルダを選択した場合です。



**【セキュリティ】タブについて**  
右の画面例は共有フォルダがFAT32フォーマットのハードディスクにある場合です。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、他に【セキュリティ】タブがあります。

- 3** ① [このフォルダを共有する]を選択します。  
② 必要に応じてオプション項目の設定を変更します。



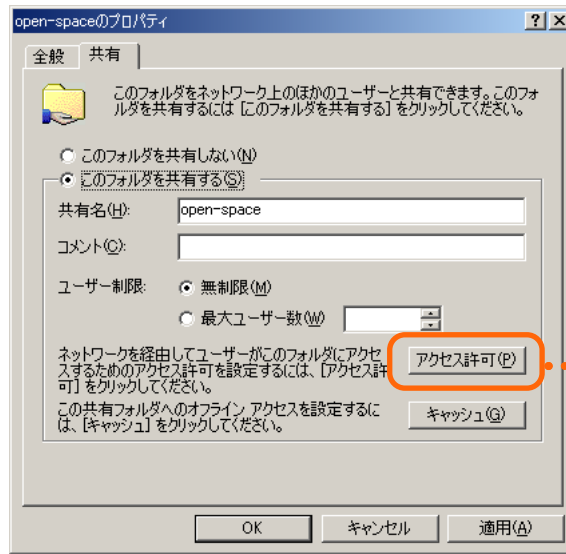
#### ●共有名/コメント

[共有名]はマイネットワークで表示される名称です。初期値ではフォルダの場合はフォルダ名が、ドライブの場合はドライブ番号が表示されます。フォルダの場合はそのままにしておくことをお勧めします。[コメント]には簡単なフォルダの説明などを入力できますが、入力しなくてもかまいません。

#### ●ユーザー制限

[無制限]をオンにするとアクセス権のあるすべてのユーザーが同時に共有フォルダにアクセスできます。アクセス権のあるユーザーの人数が多い場合、多数のユーザーが同時に共有フォルダにアクセスするとコンピュータのパフォーマンスが低下します。そこで、[最大ユーザー数]をオンにして、同時にアクセス可能なユーザー数を設定すると、それ以上のユーザーのアクセスを制限できるためパフォーマンスの低下を防ぐことができます。

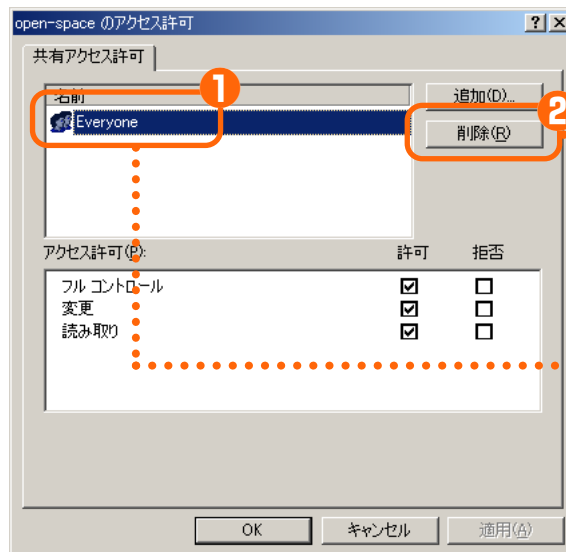


**4** **アクセス許可** ボタンをクリックします。**「Everyone」の削除**

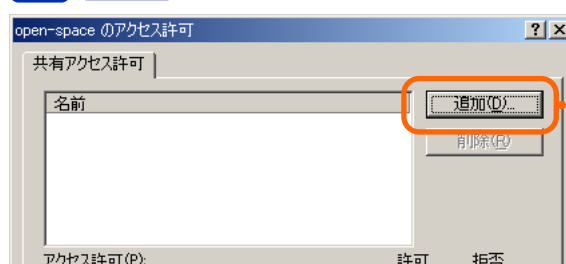
「Everyone」は登録されたアカウントすべてというグループアカウントです。特定のアカウント(ユーザー)だけを指定したい場合は必ず削除してください。

すべてのアカウントのアクセスを許可する場合は、Everyoneをそのまま登録しておけば、ユーザーごとのアカウントを登録する作業は不要です。

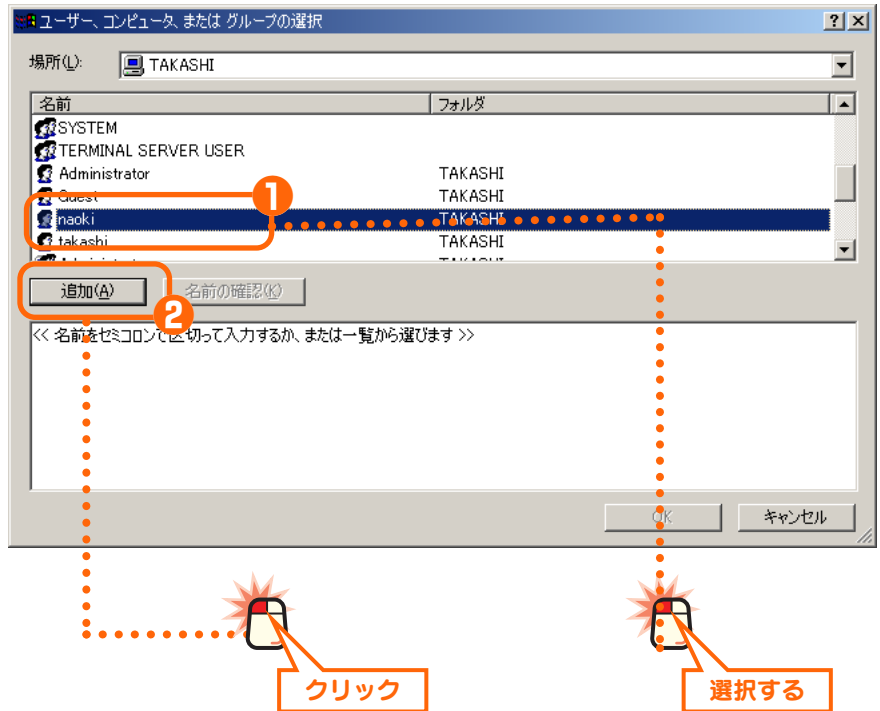
なお、Everyoneを登録しても、アカウントを作成していないコンピュータは共有フォルダにアクセスすることはできません。

**5** **1 「Everyone」を選択します。**  
**2 削除** ボタンをクリックします。

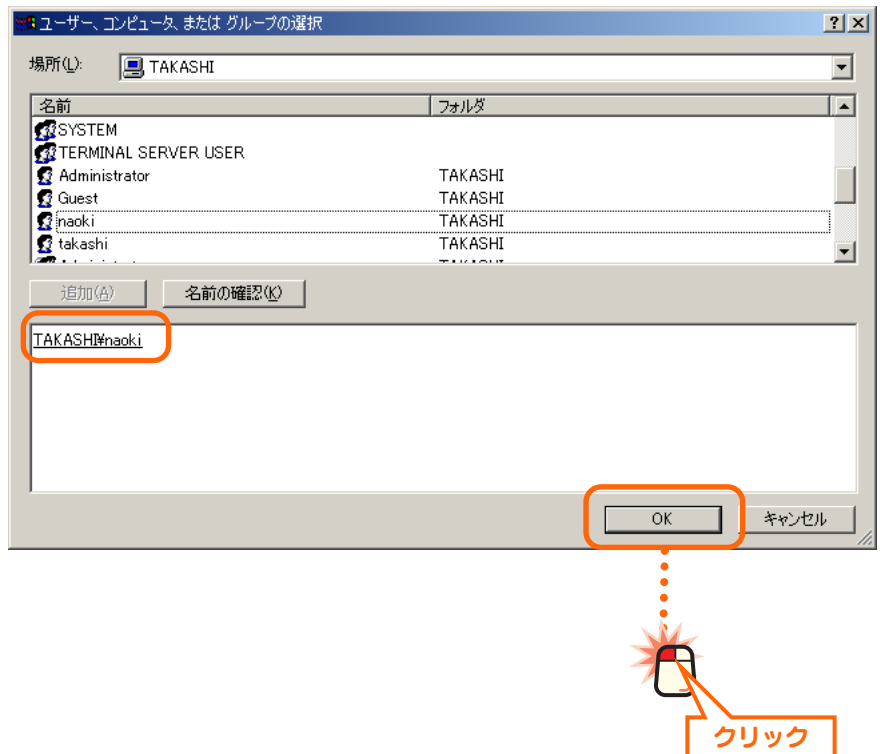
すべてのアカウントのアクセスを許可する場合は、Everyoneを削除する必要はありません。次にアクセス権限を設定しますので手順 **9** へ進みます。

**6** **追加** ボタンをクリックします。

- 7** ①一覧からアクセスを許可するユーザーのアカウントを選択します。  
 ② **追加** ボタンをクリックします。

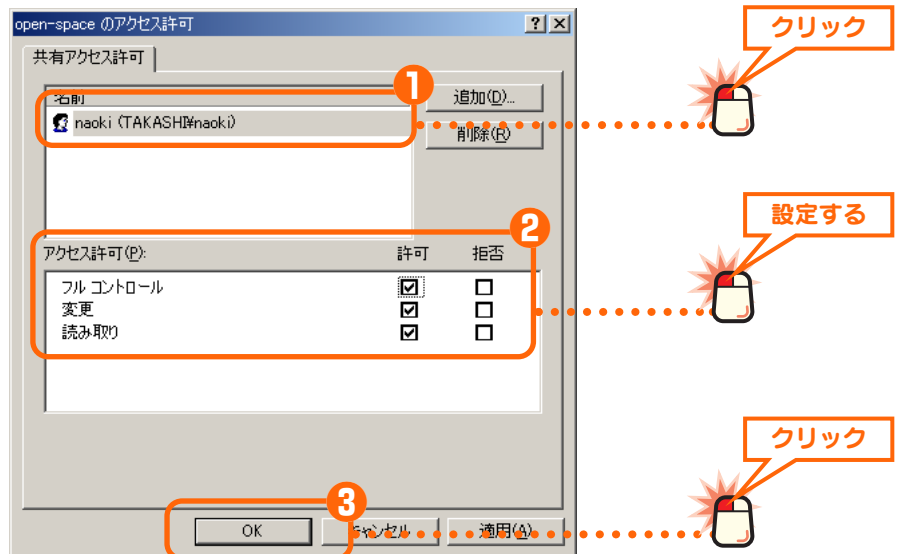


- 8** 下のリストに、アクセスが許可されたアカウントが表示されます。手順 **7** の操作をくり返すことで同時に複数のアカウントを登録できます。  
 登録が終われば **OK** ボタンをクリックします。



## 9 リストに、アクセスを許可するアカウントが表示されます。

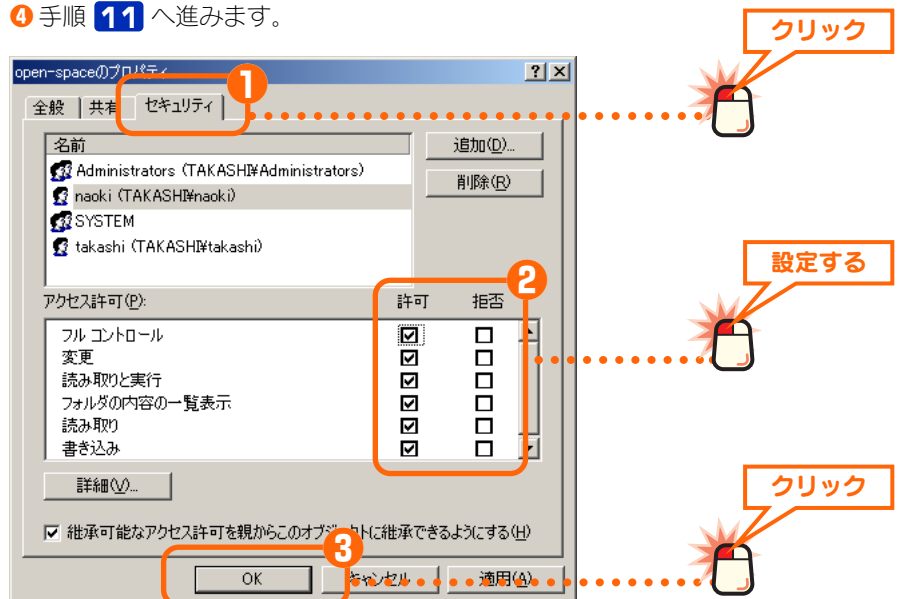
- ① アクセス権を設定するアカウントを選択します。
- ② [アクセス許可]でアクセス権を設定します。
- ③ **OK** ボタンをクリックします。



## 10 プロパティに戻ります。このあとはハードディスクが NTFS フォーマットか FAT32 フォーマットかで手順が異なります。

### ● NTFS フォーマットの場合

- ① 【セキュリティ】タブが存在しますので、このタブをクリックします。
- ② 手順 ⑥ ~ ⑨ と同じ要領でアカウントとアクセス権を設定します。
- ③ **OK** ボタンをクリックします。
- ④ 手順 11 へ進みます。



### ● FAT32 の場合

FAT32 フォーマットでは【セキュリティ】タブはありません。プロパティの **OK** ボタンをクリックします。手順 11 へ進みます。

**11 アイコンに手のひらマークが付きます。**

・手のひらマークが共有中のフォルダ/ドライブアイコンであることを表します。

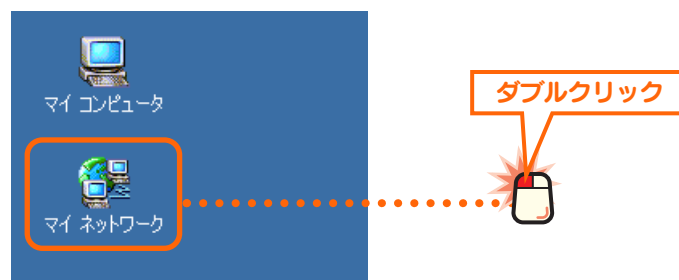
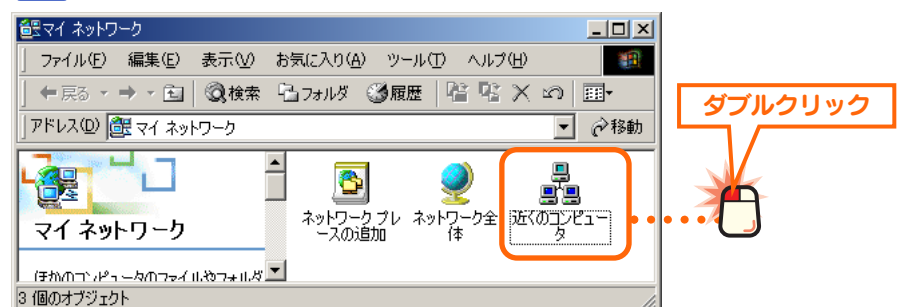
これでフォルダまたはドライブの共有設定は完了です。複数のアカウントのアクセスを許可する場合は、アカウントの登録作業をくり返してください。

**共有化したフォルダやドライブの下層フォルダについて**

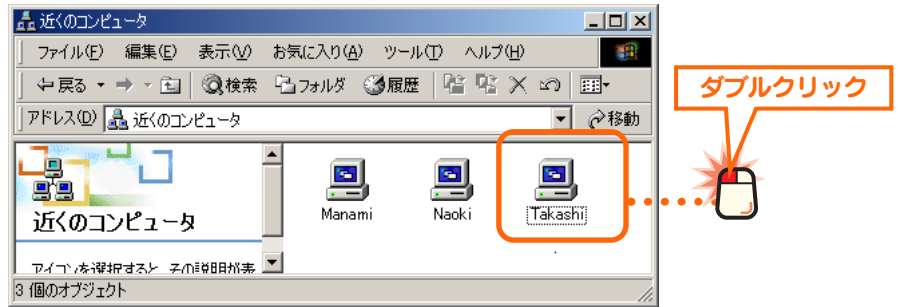
フォルダやドライブを共有化すると、共有化したフォルダ/ドライブの中にあるすべてのフォルダも共有化されますのでご注意ください。共有化したフォルダ/ドライブ内にあるフォルダを共有化したくない場合は別の場所に移動してください。

**他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする**

他のコンピュータの共有フォルダやドライブにアクセスする方法を説明します。

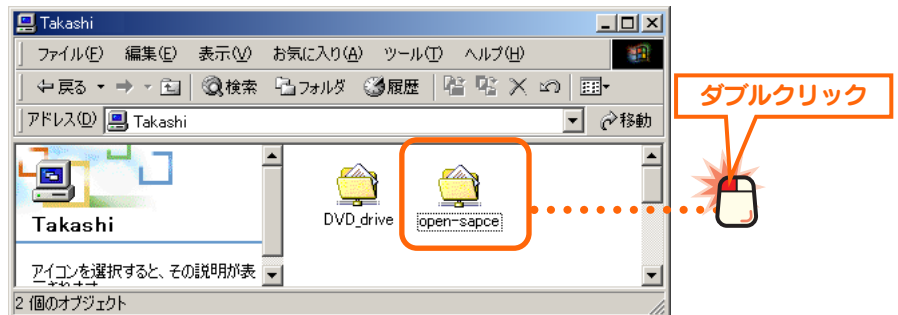
**1 デスクトップにある[マイネットワーク]アイコンをダブルクリックします。****2 [近くのコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。**

### 3 アクセスしたいユーザー名のコンピュータのアイコンをダブルクリックします。



・他のユーザーのアイコンが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

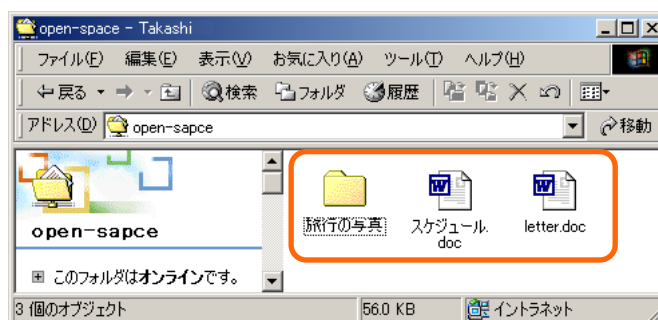
### 4 相手のコンピュータで共有設定されているフォルダやドライブが表示されます。アクセスしたいフォルダまたはドライブをダブルクリックします。



#### アクセスを拒否されたり、パスワードの入力を要求された

フォルダやドライブを共有設定している側でアクセス権限を設定している場合は、アクセスを拒否されたり、パスワードの入力を要求されます。このような場合はアクセス先のコンピュータのユーザーに設定状態を確認し、必要に応じてアクセス権限を変更してもらったり、パスワードを教えてもらったりしてください。

### 5 相手の共有フォルダまたはドライブにあるファイルが表示されます。



共有設定のアクセス権限に合わせてファイルをコピーしたり、変更したりできます。

## プリンタを共有する

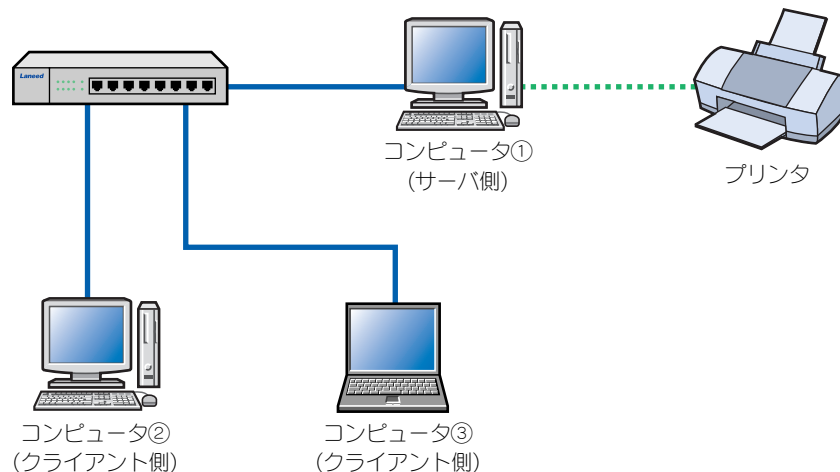
ネットワーク上のいずれかのコンピュータにプリンタが接続されている場合、そのプリンタを共有することで他のコンピュータからもネットワークを経由してそのプリンタから印刷できるようになります。



### サーバとクライアント

一般的にプリンタ共有では、プリンタを直接接続したコンピュータを「サーバ」と呼びます。それに対して、ネットワークを経由してプリンタを利用するコンピュータを「クライアント」と呼びます。

### ●プリンタ共有を使用したネットワーク構成例



プリンタを共有化するとコンピュータ①(サーバ側)に接続されたプリンタをコンピュータ②と③(クライアント側)がネットワーク経由で利用できるようになります。

※プリンタ共有でクライアント側から印刷するには、サーバ側のコンピュータを起動しておく必要があります。

## サーバ側のコンピュータについて設定する



### クライアント側の設定方法は

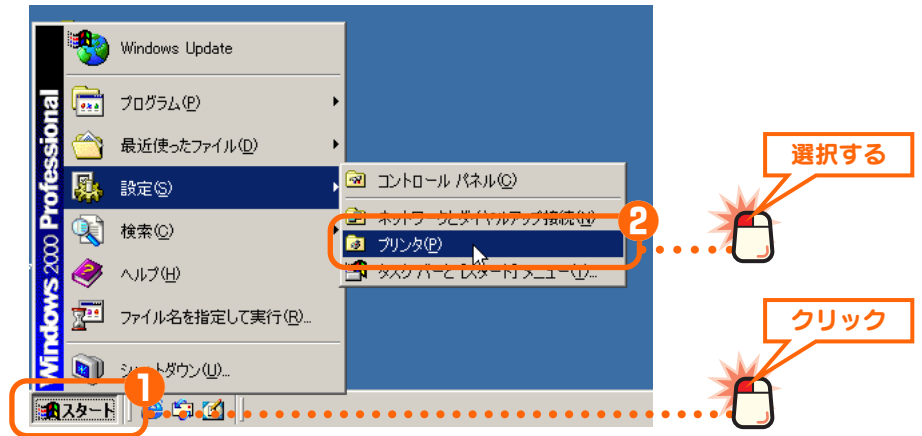
サーバ側の設定が完了したあとで、[2000編-25]ページ「クライアント側のコンピュータについて設定する」へ進んでください。

サーバ側のコンピュータ(前述の構成例ではコンピュータ①)に接続したプリンタを共有するための設定をします。

### ●プリンタの準備を完了しておいてください

サーバ側のコンピュータについては、あらかじめプリンタドライバのインストールなど必要な設定をおこない、プリンタから印刷できることを確認しておいてください。ドライバのインストール方法はプリンタに付属のマニュアルをお読みください。

**1** ①[スタート]ボタン→②[プリンタ]を選択します。

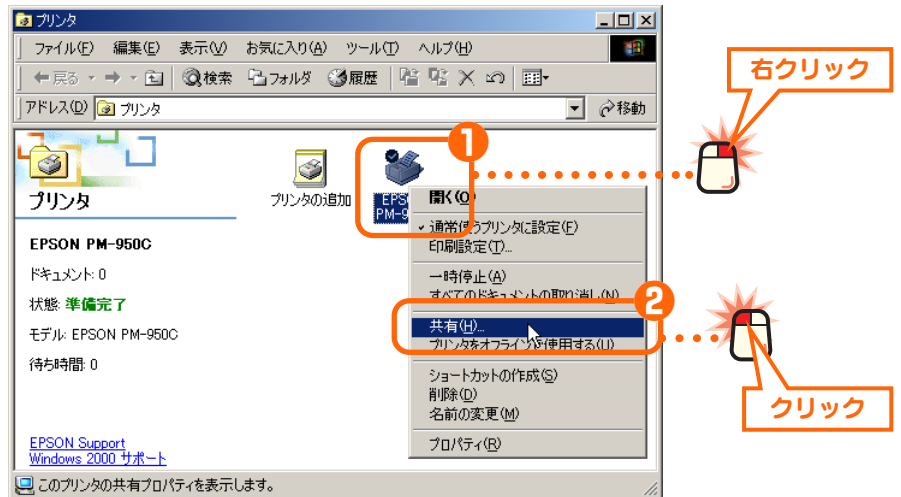


プリンタアイコンに表示される名称は、実際にご使用の機種名称が表示されます。画面例はEPSON PM-950Cを使用している場合です。



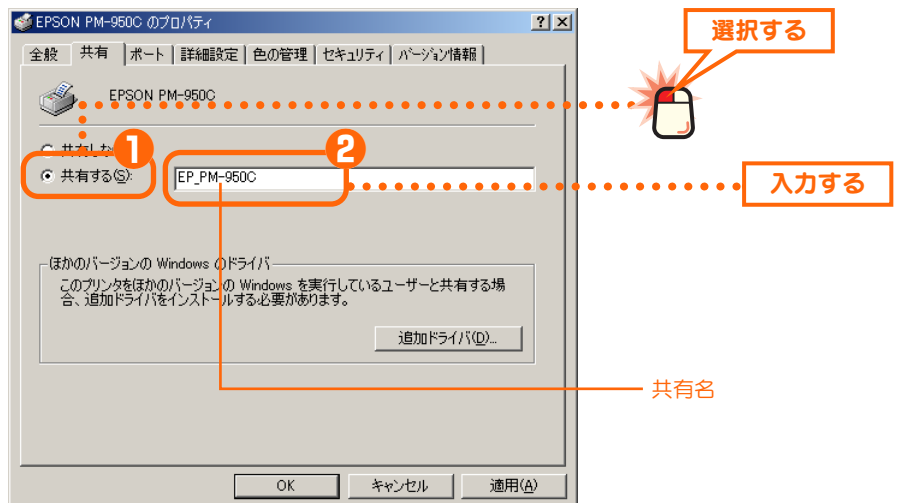
プリンタアイコンを右クリックし、メニューにある[共有]を選択する方法もあります。

**2** ①共有したいプリンタのアイコンを右クリックします。  
②メニューにある[共有]をクリックします。



**[追加ドライバ]ボタン**  
ネットワーク上にWindows 2000以外のコンピュータがある場合に、このボタンをクリックし、一覧から他のOSを選択すると、そのOSに必要なプリンタドライバもこのコンピュータにインストールしておくことができます。ただし、INF形式のプリンタドライバだけになります。EXE形式のプリンタドライバは使用できませんので、最新のプリンタではこの機能を利用できない場合があります。設定ガイドではこの機能を使用せずに作業を進めます。

**3** ①[共有する]をオンにします。  
②必要に応じて共有名を入力します。



### ●共有名

共有名は初期値のままでもかまいません。必要に応じて入力してください。使用できる文字は半角英数字、「-」、「\_」などです。この名称は他のコンピュータで表示される名称になります。

#### Windows Me/98 マシンがある場合

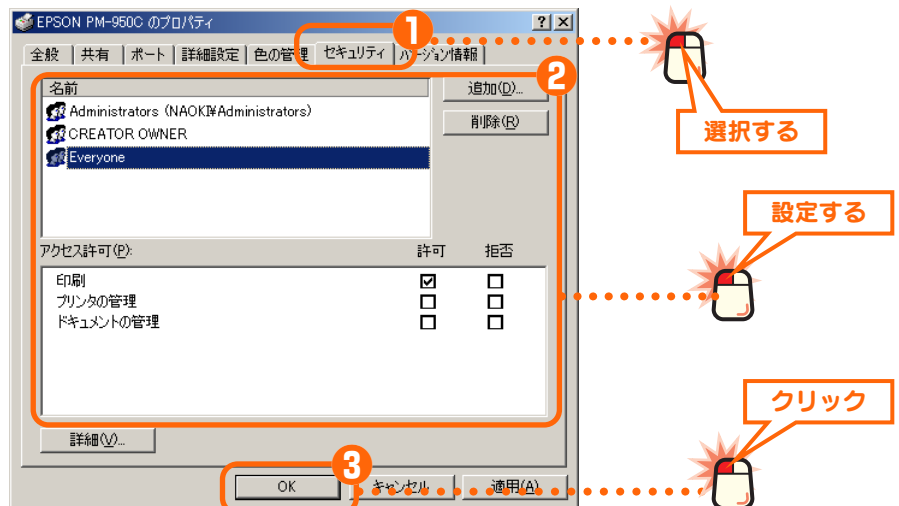
Windows Me/98 を使用するコンピュータがクライアント側にある場合、共有名は半角英数字 12 文字以内に設定してください。12 文字を超えると Windows Me/98 では認識できません。



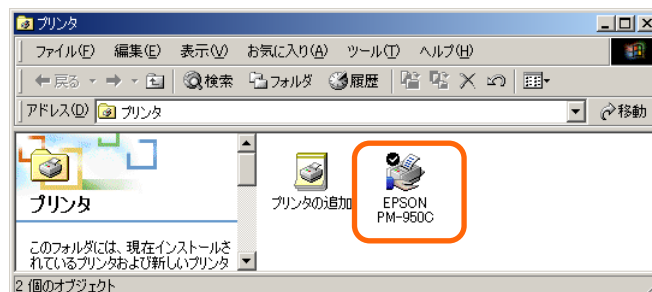
#### すべてのユーザーに使用を許可するなら

すべてのユーザーにプリンタの使用を許可する場合は「Everyone」アカウントの利用がお勧めです。「Everyone」アカウントを登録しておくことでサーバ側のコンピュータにアクセスを許可されたすべてのコンピュータがプリンタを使用できますので、わざわざユーザーごとにアカウントを登録する必要はありません。

- 4** **1** 【セキュリティ】タブを選択します。
- 2** [2000 編-17] ページの手順 **6** ~ **9** を参考にプリンタの使用を許可するアカウントを設定してください。
- 3** **OK** ボタンをクリックします。



- 5** 共有したプリンタに手のひらマークが表示されます。



これでサーバ側のコンピュータのプリンタ共有設定は完了です。続いてクライアント側のコンピュータの共有設定をします。次ページの「クライアント側のコンピュータについて設定する」へ進みます。



## クライアント側のコンピュータについて設定する



### サーバとクライアント

一般的にプリンタ共有では、プリンタを直接接続したコンピュータを「サーバ」と呼びます。それに対して、ネットワークを経由してプリンタを利用するコンピュータを「クライアント」と呼びます。



一部のプリンタについては、コンピュータにプリンタを直接接続し、電源を入れておかないとプリンタドライバがインストールできないものがあります。このような場合は、クライアント側のコンピュータにプリンタを接続してプリンタドライバをインストールしてください。インストール完了後、プリンタをサーバ側のコンピュータに接続してください。

クライアント側の各コンピュータで、サーバ側のコンピュータに接続されたプリンタを利用できるように設定します。コンピュータのOSがWindows 2000 以外の場合は、実際に使用しているOSの該当ページをお読みください。

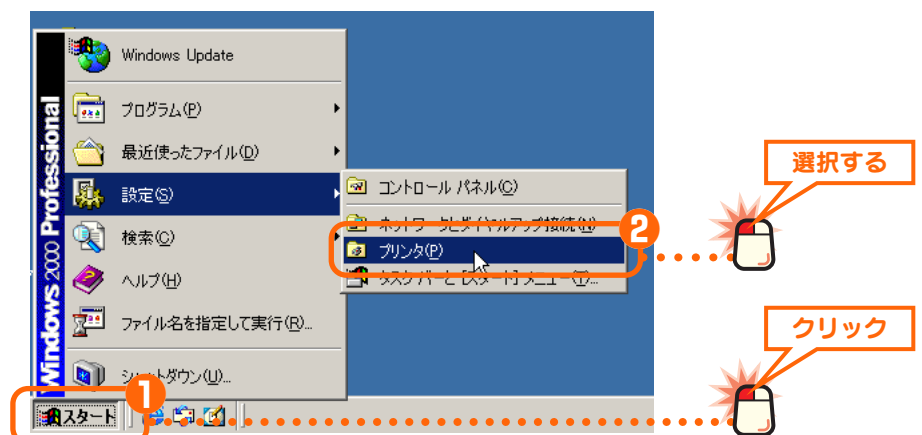
(例)Windows Meの場合→ネットワーク設定マニュアルWindows Me/98編の「クライアント側のコンピュータについて設定する」

### ●サーバ側のコンピュータのOSがWindows 2000 以外の場合

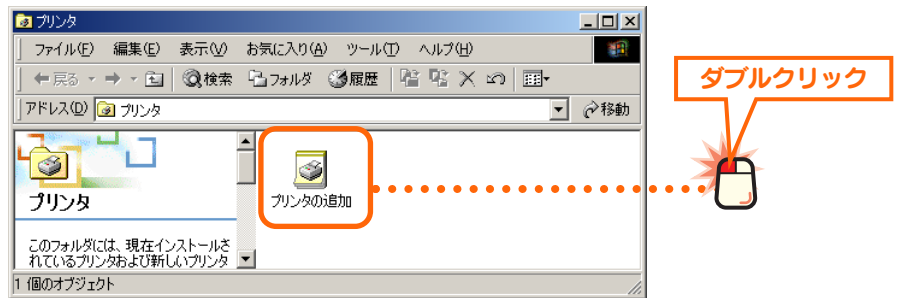
共有したプリンタを利用するには、クライアント側のコンピュータにもプリンタドライバが必要になります。サーバ側とクライアント側のコンピュータが同じOSを使用している場合は、このあとの作業でサーバ側から自動的にプリンタドライバがインストールされますが、OSが異なる場合はあらかじめクライアント側のコンピュータにプリンタドライバをインストールしておく必要があります。以下の点に注意してあらかじめプリンタドライバをインストールしておいてください。

- ①プリンタの取扱説明書に従ってクライアント側のコンピュータにプリンタドライバをインストールします。
- ②途中でプリンタポートを指定する画面が表示された場合は、ネットワーク経由で使用するよう指定してください。ネットワーク経由で接続することを指定できないときはLPT1 またはUSB ポート指定してください。実際にはこれらのポートは使用しません。プリンタドライバをインストールするために仮に指定します。
- ③インストールが終われば、このあとの手順 **1** へ進みます。

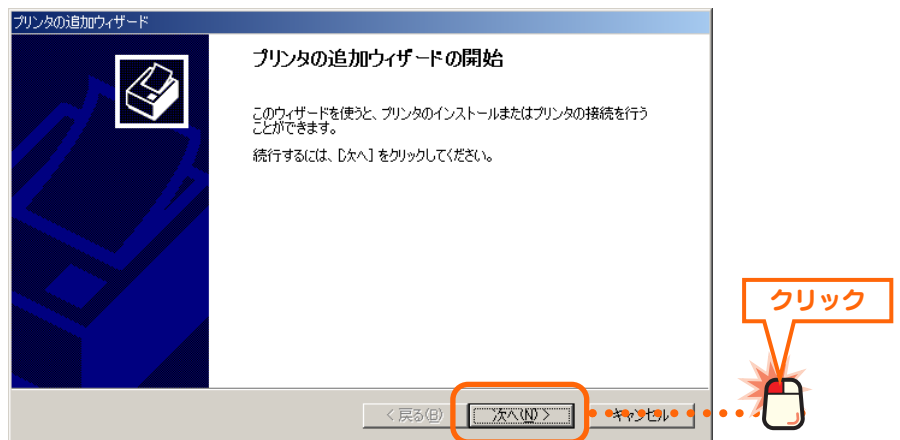
### 1 ①[スタート]ボタン→②[プリンタ]を選択します。



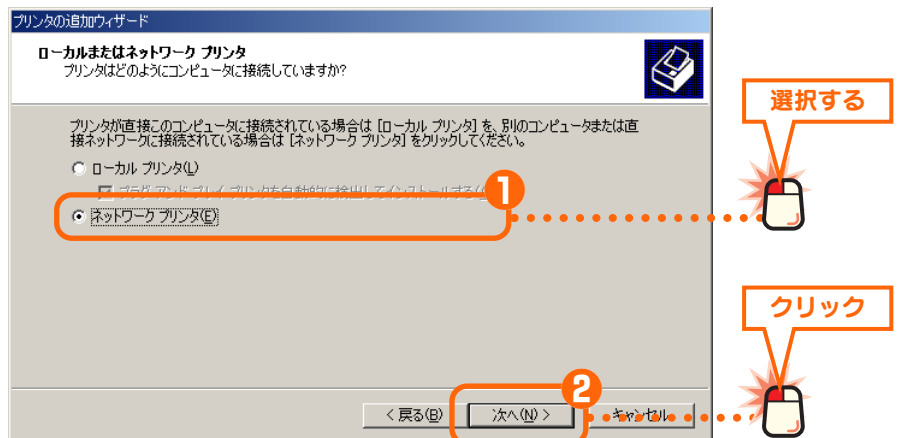
## 2 [プリンタの追加]をダブルクリックします。



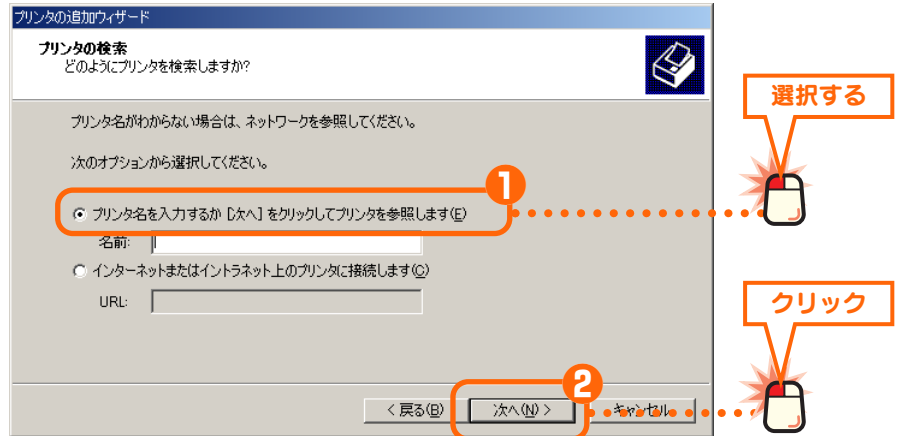
## 3 次へ ボタンをクリックします。



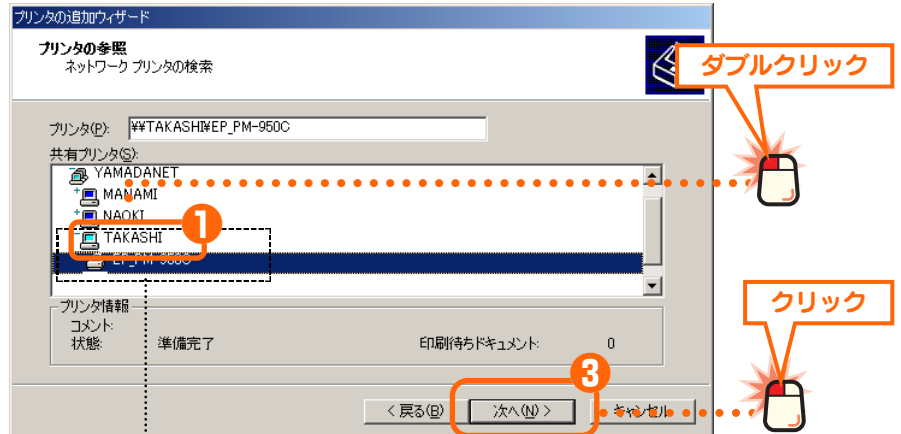
## 4 ① [ネットワークプリンタ]を選択します。 ② 次へ ボタンをクリックします。



- 5** ① [プリンタ名を入力するか[次へ]をクリックしてプリンタを参照します]を選択します。ただし、[名前]には何も入力しないでください。
- ② **次へ** ボタンをクリックします。



- 6** ① プリンタを接続しているコンピュータ名をダブルクリックします。
- ② 共有したプリンタの名称が表示されますので選択します。
- ③ **次へ** ボタンをクリックします。



プリンタを接続しているコンピュータの名前をダブルクリックすると共有プリンタが表示されます。

選択する



右の画面は、通常使うプリンタとして他のプリンタがすでに登録されている場合に表示されます。

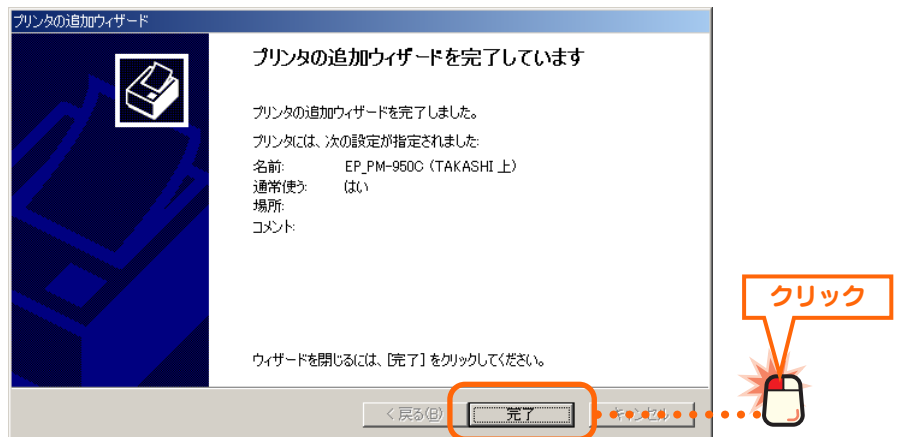
**7** 以下の画面が表示された場合は **①②** の操作をします。それ以外は手順 **③** へ進みます。

**①** [はい] を選択します。

**②** **次へ** ボタンをクリックします。



**8** **完了** ボタンをクリックします。

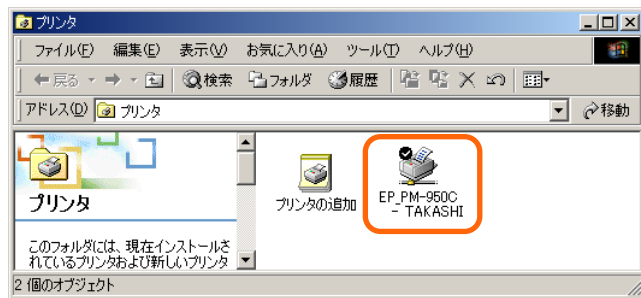


**通常印刷するプリンタに設定していない場合は**  
各アプリケーションの印刷画面にある[プリンタ]で、共有しているプリンタを指定すれば、あとはプリンタを直結している場合と同じ手順で印刷できます。



**双方向のプリンタについて**  
ネットワークで共有しているプリンタとは双方向通信ができないため、プリンタユーティリティの双方向を利用した機能については正常に動作しないことがあります。

**9** **〈プリンタ〉** 画面に共有しているプリンタが表示されます。



これで Windows 2000 のクライアント側のコンピュータでプリンタを共有する設定は完了です。通常使用するプリンタに設定している場合は、プリンタを直結している場合と同じ手順で印刷できます。